

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成28年5月22日（日） 14時～16時30分
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 38名
- 出席者 星野市長、日暮総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長
杉山環境経済部参与、大谷建設部長、渡辺都市部長、他8名

■懇談要旨

市民：ケヤキ並木のケヤキを大事にしてください。中央公園のケヤキ通りには、東電の電線があるので地下に埋設してください。

建設部長：ケヤキ並木は、中央公園と団地の中の2路線が並木です。枝の間に電線が通っていますが、以前地中化等の要望はありましたが、莫大な費用がかかり、予算上難しいです。

ケヤキの管理については、ケヤキが大きくなりましたので、風の強い時や枝が折れた時などパトロール等を実施して適正な管理をしていきます。

市長：湖北台には、ケヤキ並木が2路線といちよう並木があります。

剪定については、財政上厳しい中2、3年に一度実施していますが、費用が掛かりますので強めに剪定をするようになります。また、落ち葉の掃除も大変です。電線を地下に埋設するにも莫大な費用が掛かります。ケヤキの根っこにより車道・歩道の舗装修繕も掛かります。ケヤキやいちよう、さくらなどの街路樹が大きくなってきましたので新しい路線については、中程度の木を植えるようになります。

市政45周年を向かえて建物や樹木の管理等費用も大きく掛かります。民生費等で費用が掛かる中、どう樹木の管理をするかは優先順位を決めながら管理をしていきます。皆様方には、引き続きご協力をお願いします。

市民：重点施策の33番、広域型特別養護老人ホームの整備をお願いしたい。

重点施策14番、自主防災組織への支援では、ペットと一緒に避難するのが難しいが、我孫子市の場合どのような対応をするのか。

重点施策15番、管理不全な空き家対策として、今年中に空き家の調査を実施するが早めをお願いしたい。

市民生活部長：ペットと一緒に避難をする場合も防災地域計画の中で示しています。

避難所の中には一緒に入ることはありませんが、ペットとは別の場所に居て頂くようになります。

空き家対策の調査は、6月から調査を1年間かけて実施し、適切な管理をしていない所有者に対して通知します。

現状では、市内に空き家がどのくらいあるのか分かりませんが、調査をしてどう対応していくか計画をたてていきます。

市長：空き家については、数ヶ月前から空き家と中古住宅でも使えない空き家では管理が違います。基本的には、個人所有の財産ですので、行政が税金を投入して実施するのはおかしいので所有者に対応してもらいます。どうしようもない場合は最終的に代執行まであり得ますが、国の法律や市の条例に合わせながら手順を踏んで実施します。皆さん方から近所で空き家になっている場合は、連絡をしてもらい所有者に対応を促していきます。

特別養護老人ホームについては、3年に1度介護保険制度の見直しをしながら次のニーズ調査を実施します。色々なタイプの施設があるので調査をして建設をします。今年は聖人会病院の脇に聖人会病院が運営する社会福祉法人が100床の特別養護老人ホームを建設します。救急病院と関係法人ですので連携が取りやすい状況です。これから建設し来年の秋頃に完成です。

厚生労働省はプライバシーの保護で個室のみでしたが、国や県に何度も掛け合って多床室4割個室6割で我孫子市内では整備をさせていただきます。市は1億円の補助、千葉県は4億5千万円、計5億5千万円の補助があるからこそ社会福祉法人は特別養護老人ホームを建設してくれています。

その前に進んでいました小規模多機能特別老人ホームは29人定員の施設では社会福祉法人は経営につまずくのではないかと思われ、これからは100床の特別老人ホームをもう少し必要ではないかとの前程で調査をさせていただきます。そして、3年ごとに建設を誘導していきます。

これからも介護保険制度は施設系サービスの充実と訪問系のサービスの充実をきちんとバランスをとりながらニーズを併せながら整備をしていきます。

市民：地震に対しての対策等、市の考え方が良く解らない。震度7くらいの地震が来た場合の計画について触れてもらいたい。

市長：5年前の東日本大震災では、我孫子市は被災地となりました。当時にあった計画の見直しは5年前に実施して、近隣センターに配置済みです。

我孫子で一番心配なのは、地震と水害です。その内の地震については、茨城南部地震の影響が大きいです。我孫子市は東京に通っている人が多いので、帰宅困難者が大量に出ました。土曜日曜や夜間は職員が足りない前提で避難計画を作らないといけない。5年前の経験からは臨時や嘱託職員、消防団にもう少し協力をしてもらうように組み直しました。その時の大きな見直しは自助公助をはっきりと皆さんにお願いする物に変えさせていただきました。

熊本地震については、義援金のお願いをしています。それから、避難所が夏になると厳しいので市の市営住宅が10個空いていますので、入居できるように整備しています。夏の間だけでも来てもらえればと思い、家賃免除で準備ができればいいので、広報でお知らせします。熊本から色々な情報が入りましたら教えていただきたい。

災害の協定は被災していない近隣市が動くので千葉県内では応援体制をとっています。また、少し離れたとこれでは50幾つの町と応援体制を結んでいます。市民生活部長：地域防災計画の概要版について、来月自治会に配りますので、回覧をお願いします。

災害への備えについては、熊本地震を見ていると最低3日間ではなく、3日以上は自分で備蓄するようにお願いします。

市民：感想として若い人の参加が少ない。熊本地震がありまして防災対策など出ているが、子どもや老人のためにこれから若い世代の力が大きいです。若い人が懇談会に参加するためには市の情報を発信するのが乏しいのではないかと。今後、行政が若い世代にどのように関心を持ってもらうのか聞かせてもらいたい。

市長：市政ふれあい懇談会は市政全般の事で意見をもらうため参加者は高齢者が多いです。テーマが広いので自然と高齢者になってしまいます。若い人が多く使う公園の要望や駅前の信号機の設置などについては、多くの若い人達の意見をいただいています。また、若い人達の意見をもらう場合は、保育園や学童の保護者など具体的なテーマで参加をお願いします。

このような漠然としたテーマだと若い人は少ないです。ふれあい懇談会の地区別テーマは後半にしますが、全体のテーマは同じなので、どこの会場でも参加は

結構です。違う所に来てでも排除はしませんので、その会場で聞いた内容について後で質問等をする場合については、秘書広報課にお手紙やメールをいただければ必ず回答をしています。湖北地区は若い人が少ないのでeモニター制度などを使っていただきたいと思います。

市民：1) 湖北台中央公園と図書館分館について質問したい。

①公園の桜の木を増やしてもらいたい。現在は5本だけですが、せめて後5本は増やしてもらいたい。また、種類の違う桜もお願いしたい。

②柳の木については、古くなって台風や大雨など危ないので伐採していますが、切りっぱなしです。現在3～4本位なので、その後に6～7本植えてほしいです。

③バリアフリーについて、団地側の西側には車が駐車しているので電動車イスの方は通れない。歩道から中央公園に入れるアクセスを2ヶ所作ってほしい。また、公園の中を車イスでも通れるようにしてもらいたい。

2) 湖北台図書館分館については、移転計画はありますが、いろいろな問題は別にして現在の分館をもう少し整理をしてもらいたい。また、エレベーターなどを設置してもらいたい。水道局の建物との関連がありますが、できるだけ早くお願いしたい。

都市部長：①桜の木の植樹については、今年度の予定の中に湖北台中央公園も予定しています。本数については調べてお答えいたします。

②柳の木について、補植をしてなかった理由については分からないが、かなり大きくなっているのので枝を切ったりしている。出来れば切らないで、そのまま延ばしていきたいが、そのままどうっそうとしてしまうので理由があって補植をしなかったと思います。調べて補植ができれば行っていきます。

③バリアフリーの工事を一昨年しました。湖北台中学校の方から入って段差の解消など基準をクリアして工事をしている。団地の西側の駐車場の方は現地を確認します。

市長：1) 桜については、6月1日号の広報に予定しています。また、ホームページにも出します。今年は50本予定していましたが評判が良かったので70本に増やしていきます。湖北台の方から中央公園にも植えてほしいと要望がありましたので調整をしています。また、場所や種類として早咲きの陽光桜、河津桜などを植えると長い時間楽しめるので、今年募集しますので寄付をお願いします。

2) 図書館の整備は教育委員会が整備する。消防署や保育園等の意見をまとめるのが難しいので、図書館は単独で事業を行う。一体の整備ですと早期ですが、分けると長期化になる。意見は教育委員会に伝えます。

市民：市民バスのことで聞きたい。10月から変わるが、新木から団地側に止まっていた時は100円で1時間に1本は来たが、50円値上げしてから湖北駅から新木まで1日に5本しか来なくなった。9時30分が行った後1時30分まで3時間来ないので。50円値上げしているの、今までどおり来てもらいたい。

また、湖北高校から日秀の県営住宅を通って日秀観音を通るルートが無くなった。買物へ行く場合は、往復タクシーを利用している。50円値上げするのは良いがどの様なルートになるのか。

建設部長：新木ルートについては、10月に改正されます。住民の意見や自治会の意見では、新木駅より湖北駅に行きたい。また、便数を増やしていただきたい。という要望がありました。今回の改正では湖北駅北口への循環ルートは、今1日6本です。今度は新木団地から湖北駅北口に行く便が1日12本になる。これで1時間に1本は確保になります。

現在使用しているバスが老朽化していて、製造もしていない。部品も無くなっているの、新しいバスを運行させるが車体が大きくなるので、小回りが利かなくなるのでルートが変わります。

市長：バス路線で自分の家の近くを通る場合は喜びますが、離れた方は苦情を言われました。2自治会の内全体の6割の方の意見がまとまったルートになります。今使っている車両は製造していませんので、新しい車両を走らせたなら2mほど大回りしか通れないのでルートの変更をします。その他の4ルートも順次車両を入れ替えますので試走しながらルートを変更していきます。

日秀についても、湖北高校が閉鎖になって高校生が乗らなくなった。高齢化が進んで公民館で踊りや歌など発表する方があそこまで歩けないのでバスを走らせてという事でバス停を造ることになりました。色んな形で意見を多くの方からいただいています。

市民：高齢者が増えていく中、少子化は伸びていくと思うが墓が無い人が多いので市営の墓地を造ってほしい。

都市部長：平成13年に墓地の経営許可に関する条例をつくりましたが、設置基準と

して墓地は住宅から100m以内に造ってはいけない。地下水の高い場所についてもだめ等、なかなか適地がないのが現状です。市としても必要性など広域的にみて、優先順位を付けて検討します。

市長：今の所、墓地の計画は市内にはありません。お寺が墓地を広げていく時は認めています。石屋さんの共同墓地は制限しています。必要な方には必要なので何処に造ったら良いか、将来としての墓地は色々と噂が流れるので、きちんとした経営をしています宗教法人にお任せしています。市として税金を使って霊園を造るのはどうかは別の問題ですので議論をする必要がありますが、市としての計画はありませんし、民間を圧迫しないように宗教法人におまかせしていくことを基本にしています。

市民：①手賀沼の斜面の開発について市長は公園法の適用及び市の条例を使って、後僅かしかない斜面の自然を守っていくのか市長の姿勢を聞きたい。

②具体的には、桃山公園の下のほたる池の所から我孫子方面へ行くと崖の上に建物が建っている。崖のところに5段ぐらい石積みをして家を建てている。良く宅地として認めたが、非常に危険です。斜面に石積をして建てているのを我孫子市が許可しているので崩れたりした時は市の責任です。また、このままでは斜面林がなくなってしまうので市長はどのような規制を掛けるのか聞きたい。

都市部長：①手賀沼沿いの斜面林は条例を定めている。宅地化された場所については、県の崖地条例に沿ったもの建築基準法に適合しているかどうかの確認はしていますので法に適合したもので許可されている。どういう状況なのか現地を確認させていただきます。

市長：市としては保存する斜面林と通常の斜面林に分けています。保存する斜面林は相続が発生した場合は買収して保全をして残しますが、一般の私有地とした場合は、法に照らしてどうか分けざるを得ないです。開発行為の申請があった時は、当然条例に照らしながら指導はしていきます。個人の財産は制限する事は限度があります。

ほたる池の西側については条例と法に照らして制限をしています。制限の中で有効な住宅地を造っていきます。

市民：つつじ荘については委託をしているが、マイクロバスが湖北駅北口からしか出ていません。私は湖北台南側に住んでいるので、湖北駅北口まで歩いていきます。

せめて、7月改正なので一か所か二か所南口の中継地点までバスが来てもらうよう実現して欲しいです。

市長：7月改正については把握していないが、つつじ荘、西部福祉センターについては、委託しており、バスを指定管理者が管理して運行している。今の件は南口に回ってくれないかと言うことですが、初めて湖北駅南口の方から聞いたので、委託者と協議したい。

市民：我孫子市の財政について、4ページの少子高齢化で税収は減る一方です。歳入、歳出を一緒に挙げてもらったら良いです。人件費について2023年まで変わらない。2015年11月16日号の広報に職員の給与が書いてあったが、柏市、松戸市を比べても我孫子市が一番高い。給与が平均で675万円、全国平均478万円ぐらいです。一般の会社では破産です。職員の給与675万円は高いので30%カットしてもらいたい。

総務部長：人件費は高い水準で来たが、一昨年抜本的な見直しを行いました。これまで高水準の要因となっていた、市独自の給料表について、給料を平均4%引き下げたうえで、国家公務員に適用されている給料表と同等の給料表に移行することとし、平成26年12月に議会の議決を頂き給与条例を改正し、平成27年度から実施しています。

人件費の抑制については、会社だと社員数を減らしますが、市も正規職員数をピーク時と比較し約200名減らしています。また、予算ベースでは、平成22年度一般会計と平成28年度を比べると、約7億6千万円削減しています。今後、職員の給与が適正かどうか見極めつつ適切に対処していきます。2014年の決算額675万円が高いことについては、職員の平均年齢が44.9歳と高いのでこれも一つの要因です。今後も給料水準について、市民の方にご理解頂けるよう説明責任を果たして行きます。

市長：厳しい指摘ですが、私が市長になってから10年目になりますが、最初から職員の給料カットと人数を減らすように努めています。私には公務員を首にする権限はありません。そういう状況の中で私が就任した時に定年退職者が60数人いてその半分の30人を削減しました。定年を向かえたらその代わりに、若者を採用していきます。やっと1年前に給料表を他市と同じになった。だいぶ前の市長が採用したのを国の給料表に変えました。

市民：今年33名採用しましたが、1人が定年まで勤めたら何億となる。ただで働いても良いくらいの気持ちでいるように。

市長：お子さんに、ただで働いても良いと言うことなら、職員としてお待ちしております。

我孫子市は人口1,000人当たり6人ちょっとと、千葉県内でも少ない方です。その中で東北の被災地へ2人を派遣しています。熊本にも送ります。今回、救急対応を5班から6班を増やします。

市民：人口問題について、5月現在人口132,000人、57,500世帯ですが、市長の公約は15万人都市構想を掲げているが、今1万8千人不足しているため、仮に4人家族で4千5百世帯を増やす。そのための施策について。

①住宅取得の件で、空き家調査をしてどのくらいの数字になるのか調査をしてもらいたい。

②少子化対策に若い人の施策を。

都市部長：住宅施策では、若い世代の住宅施策補助金を一昨年より取組んでいます。

空き家調査は、市民生活部長より話をしましたが、特措法で実態調査を行っていく。それにより若年層の定住化を図るため取組んでいきます。

市長：私の公約ではないです。市の基本計画を見て話をしているのかと思います。平成27年が人口のピークと予想していたが、それよりも早く、平成23年をピークに減り続けています。また、4年連続で子どもの出生数が1,000人を割っています。そこで、若い世代に我孫子に定住してもらえる施策を実施しているところ です。